

登録No. S-087
 登録名 Ramucirumab/FOLFIRI療法
 催吐性リスク 中等度+オプション
 適応疾患 結腸・直腸癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	NaCl注射液	1本/body		d1・3	CVポート		投与前フラッシュ 投与後ロック
Rp.2	グラニセトロンバック デキサメタゾン マリン酸カルシウム	100mL/body 4.95mg/body 5mg/body		d1	CVポート	30min	メインルート アプレピタント併用
Rp.3	ラムシルマブ 生食	8mg/kg 250mL/body		d1	CVポート	60min	メインルート ブドウ糖液禁 ワンショット静注禁 0.2又は0.22µmの蛋白透過性のフィルター使用
Rp.4	生食	50mL/body		d1	CVポート	経過観察時 30min フラッシュ時 全開	経過観察・フラッシュ用 経過観察2クール施行しinfusion reactionなければフラッシュのみ
Rp.5	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL/body		d1	CVポート	2hr	メインルート
Rp.6	イリノテカン 5%ブドウ糖液	150mg/m ² 250mL/body		d1	CVポート	90min	側管 レボホリナートと同時投与
Rp.7	5-FU 生食	400mg/m ² 50mL/body		d1	CVポート	全開	
Rp.8	5-FU 生食	2000~2400mg/m ² 適量		d1	CVポート	46hr	輸液ポンプ、インフューザーポンプ使用 生食量は換算表参照

1クールの期間 2週間
 その他（副作用・PS規定等）

PS：0~1

一次化学療法における有効性・安全性は確立していない。術前・術後補助療法は禁止。
 G1またはG2のinfusion reactionがあらわれた場合はラムシルマブの投与時間を120分にし、
 その後のすべての投与においても減速した投与時間で投与

<中止基準>

WBC4000/mm³以下、血小板10万/mm³以下、T-Bil 2mg/dL以上、GOT,GPT 100IU/L以上、SCr異常値
 動脈・静脈血栓塞栓症の発現、G3又はG4のinfusion reactionの発現、消化管穿孔の発現、G3又はG4の出血の発現
 うっ血性心不全の発現、降圧剤の治療を行ってもコントロール不良なG2又はG3以上の高血圧の発現

<副作用>

動脈・静脈血栓塞栓症、蛋白尿、infusion reaction、出血、消化管穿孔、創傷治癒遅延
 うっ血性心不全、骨髄抑制、下痢、嘔吐、消化器症状